

平成26年第12回田原市教育委員会定例会会議録

1 開会 平成26年12月12日 午後3時30分

2 閉会 平成26年12月12日 午後5時40分

3 会議に出席した委員

横田威委員、金原真人委員、山本明子委員
土井真紀江委員、嶋津隆文委員

4 会議に欠席した委員

なし

5 会議に出席した職員

教育部長

前田和宏

教育部次長兼教育総務課長

中村文紀

学校教育課長

山本克仁

文化生涯学習課長

鈴木淳一

スポーツ課長

大羽耕一

図書館長

豊田高広

教育企画室長

三竹雅雄

教育企画室主任

清水綾子

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 平成26年12月12日（金）
午後3時30分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議題
 - (1) 学校全体配置計画について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 学校再編について
 - (3) 田原市議会第4回定例会一般質問について
 - (4) 小中学校への寄附について
 - (5) 平成27年度田原市成人式について
 - (6) 第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会出席者について

◎次回教育委員会日程（案）

・第1回定例会

1月23日（金）午前10：00 市役所北庁舎2階 200会議室

開 会 午後 3 時30分

横田委員長

御多用のところ、ご出席くださいますありがとうございます。
ただいまの出席委員は5名であります。定足数に達していますので、平成26年田原市教育委員会第12回定例会は成立いたしました。
これより開会いたします。
それでは会議規則第14条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。
今回の署名者として、金原委員と山本委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願ひします。
それでは議題に先立ち、教育長報告事項をお願いします。

教育長報告

嶋津教育長

こんにちは。学校全体配置計画について、本日、教育委員会です承いただければ、これをたたき台として改めて地域に投げかけていきたいと思っています。いろいろ試行錯誤はありましたけれども、こういうことにこれだけ地域が力を尽くしてくれるものかと、その努力にやはり改めて感謝をしたいと思っています。
そのこととあわせて、職員の昼夜を分かつたず地元に入って、いろいろ言われ、叩かれたりしながら、まとめていただいたことに心底感謝をしたいと思っています。
また、横田委員長さん始め教育委員の皆さんにも、いろいろなところからいろいろな声が上がっていましたが、とにかく、感謝、感謝という感じで思っています。
この後、意見をいただきながら、直すべきは直して、決定をしていきたいと思っています。

横田委員長

ありがとうございました。ただいまの教育長報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

(「なし」と言う者あり)

横田委員長

ご質問等もないようですので、教育長報告事項を終わります。議題に入りたいと思います。

初めに、議案第29号 学校全体配置計画について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

なお、11月の定例教育委員会に出された計画案からの変更点や市の庁内検討委員会、12月5日の文教厚生委員会などの意見もあわせて説明をしてください。

教育企画室長

お手元の学校全体配置計画に沿って、12日5日までの変更点、文教厚生委員会での意見などにつきまして報告させていただきます。

1枚めくっていただきますと、最初に教育長のコメントが入っています。こちらを第2次方針としてお示しし、この計画を議論のたたき台として地元と協議していきたいと考えております。

目次では、第1章から第4章までの章立ては変わっておりませんが、

1章で現状と課題、2章で再編の方針、3章で取り組み状況、4章で学校再編の全体配置計画としてまとめてございます。

1ページ、第1章「小中学校の小規模化の現状と課題」です。人口減少、少子化の進行に伴い再編の取り組みを進めていきます。

2ページの少子化の小中学校への影響では、小規模校の現状として小中学校の児童数・生徒数を記載してございます。

次に、3、4ページをごらんください。小中学校の校区図、各校区の少子化の現状、中学校の生徒数が記載してあります。こちらにつきましては、年齢別の表に変更しました。

4ページ、5ページには、小規模校のメリット・デメリットについて記載してございます。小規模校の部活動の実態を田原中と比較した資料で記載してございます。

5ページ以降、第2章 小中学校の再編方針につきましては、学校の小規模化によるデメリットを解消して、子どもたちが確かな学力を身につけ、豊かな人間性と健やかな体の育成といった生きる力を育むことが肝要と考え、また、地震津波被害への対策に取り組んでいく必要があるため、学校全体配置計画を2次方針と位置づけております。

6ページは、再編の基本方針として、平成25年4月に学校の適正規模を、学校全体の児童生徒数で120人以上、1学級平均20人以上と定めているものでございます。適正規模、適正配置の対象小学校、対象中学校として、小学校10校、中学校3校が表になっております。

平成25年の基本方針では、緊急地域、先行地域、検討地域と段階的に分けて取り組んでいくと書いてございます。※印の欄外に緊急地域、先行地域、検討地域を追記しました。

7ページ、8ページをお願いいたします。

小中学校再編のこれまでの取組状況について、緊急地域の岬3校区、岬中学校、それぞれ取り組んできたことを加えてございます。

8ページ、岬3小学校については、平成25年11月に教育委員会で定めた和地・堀切・伊良湖小学校再編整備方針について追加してございます。

9ページ、10ページにつきましては、伊良湖岬中学校のこと、先行地域の野田中学校の取り組み状況、平成26年2月に定めた整備方針について加えてあります。

11ページにつきましては、学校を考える会など、検討地域の取り組みが記載してあります。

次に12ページ以降、学校再編の全体配置計画を記載してあります。

今回の第2次方針では、学校の全体配置計画をもとに市民の皆さまと意見を重ねて新しい田原の教育環境を整備していきたいと思っております。学校再編にあたり、校区単位を原則として隣接する学校への再編を基本として、当該校区で十分な協議を基に進めていきたいと考

えております。

計画期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間のうち前半5年を第1期、後半5年を第2期として計画的に学校の再編を進めていきます。必要に応じて、見直しを考えております。この計画により小学校20校が11校に、中学校7校が4校に再編予定です。

再編の時期につきましては、実際には児童・生徒数の推移、再編関係校の保護者や校区からの意見を尊重して検討していくものでございます。

対象小学校と対象中学校につきましては、第1期、第2期に分けて、この表のように分類しております。

では、次のページから学校ごと順番に説明させていただきます。

13ページと14ページをお願いします。緊急地域の和地小学校、堀切小学校、伊良湖岬小学校と伊良湖岬中学校です。

和地小学校と堀切小学校と伊良湖小学校につきましては、伊良湖岬小学校として平成27年4月にスタートします。

平成31年度までは現在の和地小学校の施設を利用します。平成32年度には、現在の伊良湖岬中学校敷地等に新校舎を建設して、和地小学校から移転する予定でございます。

遠距離通学になる児童のためにスクールバスの運行を行います。

伊良湖岬中学校につきましては、再編の方式として、伊良湖岬中学校地域がまとまって赤羽根中学校あるいは福江中学校、または地域を分けて赤羽根中学校と福江中学校に別れる三つの方式、いずれかとなります。伊良湖岬小学校での1年間の学校生活を経て地元とともに判断することとし、平成27年度末までには統合先を決定していきたいと思っております。

統合の時期は、第1期の平成30年度、統合先は赤羽根中学校または福江中学校となるものです。

再編の方式、統合の時期、期間を追加してございますので、よろしくをお願いします。

次の15ページ、野田中学校と六連小学校です。

野田中学校につきましては、平成28年4月から田原中学校へ統合します。遠距離通学になりますので通学に対する支援をします。

六連小学校につきましては、六連小を田原東部小学校へ統合します。時期は、地元からの要望書の中に平成31年度までに統合とありましたので、平成31年度としてあります。

16ページ、検討地域につきましては、泉中学校では、再編の方式としては、赤羽根中あるいは福江中へ統合します。平成27年度末までに統合先を決定します。これは、伊良湖岬中学校の統合時期の決定と同時期になります。本年7月に小学校、中学校、保育園の保護者の方々と意見交換をした際、統合するなら伊良湖岬中学校統合の時期と同時期

を希望する意見が多数ありました。

統合先についても、赤羽根中または福江中との意見が多数でしたので、再編の方式として決定いたしました。表には泉中、赤羽根中、福江中の生徒数が記載してございます。

次の17ページ、大草小学校につきましては、大草小学校を神戸小学校へ統合します。統合の時期は第2期、平成32年度から平成36年度までの間とし、今後の出生数を勘案して、地元の意見を聞きながら判断していくものでございます。

次に、田原南部小学校を衣笠小学校へ統合します。統合の時期は、平成32年度以降、今後の出生数を勘案して地元の意見を聞きながら判断するものです。

田原南部小学校につきましては、24ページの小中学校の児童生徒数予測資料では、平成31年度から児童数が120人を超える見込みになっております。地元では、学校を考える会を立ち上げており、そういう気運がありますので、地元の意見を聞きながら今後に向けて協議を進めていくものです。

18ページの高松小学校です。高松小学校を赤羽根小学校へ統合します。時期は、平成32年度以降です。

若戸小学校につきましては、若戸小学校を赤羽根小学校へ統合します。時期は、平成32年度以降です。

亀山小学校につきましては、亀山小学校を中山小学校へ統合します。

次頁、統合の時期は、平成32年度以降で考えております。統合校につきましては、中山小学校となっております。

清田小学校につきましては、清田小学校を福江小学校へ統合します。統合の時期は平成32年度以降と考えております。

清田小学校につきましては、福江小学校までの距離が概ね3キロ以内で徒歩通学圏になりますので、通学支援は想定してございません。

20ページには、学校全体配置計画が一覧表になっております。再編計画の概要を表にまとめてございます。統合後は、小学校20校を11校に、中学校7校を4校に再編する計画です。亀山小学校は伊良湖岬小学校という矢印がありましたが、変更させてもらっています。

次の21ページ、22ページは、市内3高校、専門学校について、少子化等、高校も抱える問題は同じで、地元に残ってほしいとの思いもありますので、備考として掲載いたしました。

次に、23ページには、今までの経緯が追加して掲載してあります。

24ページには、小中学校の児童・生徒数の予測資料が年度別にございます。25、26ページには、学校再編に関する報道記事が掲載してございます。

そして、12月5日に文教厚生委員会で素案を提案した際、いろいろな御意見がありました。「全体配置計画がなぜこの時期になったのか」、

「この全体配置計画の位置づけは、計画なのか、方針なのか、たたき台なのか」などの質問がありました。「10年の計画では将来展望が乏しい。単に数あわせの再編に見える」、「平成32年度に120人、140人ぐらいの学校も対象としてはどうか」、「将来のことも想定するべきだ」というご意見もありました。

また、「市の教育哲学、理念が見えない」、「学校再編は市のまちづくりの基礎となるもの」であり、「夢のある、特色ある学校づくりについても、この計画に盛り込むべきだ」というご意見がありました。

将来展望が乏しい、平成32年度に140人ぐらいの学校も再編対象に入れてはというご意見がございましたけれども、計画としては先が見える10年で計画したいと思っています。統合を進める際には、打ち合わせや合意までに時間もかかるものです。計画は決定ではなく、例えば5年ごとで見直すことも必要だと思っていますし、学校の状況が地域でさまざまですので、状況により120人を超える学校について再編対象とすることは考えられるものです。

まずは子どものことを最優先に考えて、状況によって見直していきたいと考えているものでございます。

計画の位置づけにつきましては、この計画は教育委員会で策定する計画です。小中学校の小規模化による課題を解決して、小規模校の適正化、津波、地震、災害への防災対策を図るため学校再編の基本方針とするもので、学校全体配置計画と称して策定しました。この計画をもとにこれから地域で協議を積み重ねていきます。その際、地元にお示しするときには、たたき台として協議していくという位置づけの計画と考えております。

学校哲学、教育理念を計画へ盛り込むことにつきましては、やはり小中学校の小規模化による課題を解決するということが大きな目的です。この上位計画には、教育振興基本計画、市の総合計画があります。教育振興基本計画では、「ふるさとに学び、人がつなぐ田原の人づくり」という教育理念が書かれておりますし、総合計画でも、「ふるさとに学ぶ教育、生きる力を養うこと」がうたわれております。

学校全体配置計画にも生きる力というようなことも明示しておりますが、そういうことにつきましては、総合計画、教育振興基本計画で内容を充実させていくことが必要です。全体配置計画は、それらの計画の部門別の計画と位置づけておりますので、ご理解していただければと考えております。

特色ある学校運営についてというご意見がありました。新たな学びの体系、教育施設、例えば小中一貫校の取り組みについては、今の状況では問題解決にならないということもあります。

これらの取り組みにつきましても、教育振興基本計画でうたっていくことが適切かと思っており、この全体計画を具体的に進めていくこ

	<p>とが議論の始まりではないかなと考えております。</p> <p>地域の皆さんと協議を重ねていく中で、この計画を見直しながら課題を解決し、新たな取り組みが必要になってくれば、必要に応じてやっていきたいと考えております。</p> <p>以上が、文教厚生委員会などでいただいた意見への考え方ですので、よろしく願いいたします。</p>
横田委員長	<p>学校全体配置計画の概要説明が終わりました。</p> <p>委員の皆さんから自由なご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。</p>
金原委員	<p>六連小の再編方針ですけれども、以前、地域で神戸小にと手を挙げた住民もいましたけれども、神戸小への選択肢はないわけですか。</p>
教育企画室長	<p>まずは、東部小ということで考えます。</p> <p>地元の協議の中で決めていくこととなりますが、六連校区からの報告書では、東部小との統合を前提とするなら移転新設が条件とのことでした。現状で新設を考えることはなかなかできず、現有施設を使用したいと考えておりますので、東部小をたたき台にして協議を進めていきたいと考えております。</p>
横田委員長	<p>ほかにございますか。</p> <p>ないようですので、私からいいですか。</p> <p>2ページの小学校、中学校児童数の推移のグラフが気になっています。平成10年から平成20年までの間は急激に下がっており、子どもの減少がよくわかりますが、平成20年から平成32年までの減少ぶりは3%ですので、なぜ再編につながるのか。</p>
教育企画室長	<p>次の3ページの表だと、校区ごと小さくなるのがわかりますが、2ページのグラフではたたき台にすると言われているけれども、これを見せることによってたたき台にならなくなるのではないですか。</p> <p>確かに子どもの人数からは、ゆるやかな減少傾向が見えますので、現状を知るための資料としてとらえていただければと思います。</p>
横田委員長	<p>3ページ、4ページで、学校ごとの子どもの人数を見ていただければ、10人以下になってくる学校がどんどん出てくること。24ページの小中学校の児童生徒数の予測推移の資料で学校別の年度別の表を見ていただくと、減少してくるところとあまり変わらないところがはっきりわかっていると思うので、この1ページ、2ページの表につきましては、全体の状況をとらえていただくことで載せたものです。</p>
教育企画室長	<p>6ページ、平成25年4月26日に再編の基本方針について決定された経緯を教えてくださいませんか。</p>
横田委員長	<p>田原市教育委員会第3回臨時会で決定されています。</p>
横田委員長	<p>スクールバスの件で、通り道だから乗せてほしいという声も出ていますと聞きますが、最後の3行に遠距離通学となる児童生徒の通学手段を確保するため路線バス等の通学費への支援が書かれているので、こ</p>

山本委員
教育企画室長

れが基準になると思いますけれども、遠距離通学への通学支援などがよくわからない保護者がいるのかなと思います。

そして、12ページ以降、たたき台になっていますけれども、こちらについてご意見があればお願いします。

今後の流れはどうなりますか。

12月5日には素案として文教厚生委員会に報告いたしました。教育委員会でお認めいただいて、12月16日の全員協議会に報告させていただきます。

山本委員
教育企画室長
教育総務課長
横田委員長

本議会ではないのですか。

本会議ではないですが、公式な会合です。

議会の議決案件ではないので、本会議では諮りません。

12ページに、時代の流れや子どもの数によって、今後見直しをしていく予定ですので、たたき台にしていくということです。

教育企画室長

計画の位置づけとしては、教育委員会が策定する計画です。

12月16日の全員協議会に計画を報告いたしまして、12月19日のコミュニティ協議会で校区会長さんにも報告予定です。

横田委員長

コミュニティ関係の担当部署とも打ち合わせをして進めてほしいと思います。

教育企画室長

学校再編の必要性については、おおむね理解していただいています。が、コミュニティや市民館の話になると、なかなか理解ができないところもあるとのこと。

嶋津教育長

委員長が言われるように、政策推進部とうまく役割分担をしながら、学校は学校の問題としてやってもらう。コミュニティの問題は、少し時間をかけて地元でじっくり話をしてもらう、そういうスタンスでいきたいと思います。

金原委員

再編の第2期について、若戸、高松は学校を考える会が発足していますけれども、大草、南部、亀山、清田では正式に発足していますか。

教育企画室長

南部地域では、学校を考える会を地域で独自に始めています。

大草、亀山、清田はまだ学校を考える会はできておりません。

学校教育課長

亀山では地元で少し始めていると校長から聞いています。

横田委員長

ほかに、よろしいですか。

(「なし」と言う者あり)

横田委員長

それでは、ほかにご質問がないようですので、お諮りをいたします。議案第29号 学校全体配置計画について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

横田委員長

ご異議がないようですので、議案第29号につきましては、原案どおり可決いたしました。

報告事項

横田委員長

次に、報告事項に入りたいと思います。

山本委員	<p>初めに、教育委員連絡報告事項についてお願いします。</p> <p>私は、2小学校の学芸会、東部小と中部小の学芸会を見させていただきました。中部小学校のときは、雨でしたけれども大盛況でした。東部小学校も伝統の大念仏おどりがあり、結構見どころのある学芸会で、どちらも一日中見て来まして楽しいものでした。</p>
横田委員長 土井委員	<p>ほかにどうですか。</p> <p>私は、子どもの中山小学校の学芸会に参加させていただきました。自分の子どもの学校なので、見慣れてしまっている面もありますので、今後はほかの学校の学芸会にも参加してみたいと思いました。</p>
金原委員	<p>私は、午前中、亀山、午後、清田の学芸会へ行かせてもらいました。特に亀山小の小学校6年生の豊川の海軍工廠の演技はすばらしく、お年寄りの方は泣いて見ている方もいらっしゃいました。</p> <p>午後の清田小も体育館に入りきれないほどの盛況で、演技力もすばらしく、さすがに6年生だなと思いました。</p>
横田委員長	<p>私は赤羽根小学校の学芸会へ行きました。赤羽根小では、おじいちゃん、おばあちゃんが最後までずっと見ていて、とてもほんわかした学芸会だなという印象が残りました。</p> <p>そして、統合準備委員会の関係で校長先生たちの会議に参加いたしました。以上です。</p>
教育企画室長	<p>では、次に、学校再編についてお願いします。</p> <p>学校再編の状況についてです。</p> <p>2ページです。伊良湖岬3校区の統合準備委員会についてです。11月26日に第11回の統合準備委員会があり、スクールバスの運行についてバス停の位置の海拔が低いのではという地元の方から声が出てきましたので、再協議することになりました。</p> <p>現在、堀切地区と日出地区のPTAと自治会が中心になって再検討しているところです。堀切地区では常光寺にバス停を一つ追加を希望していると聞いています。</p> <p>4ページ、野田中学校についてです。</p> <p>野田中学校統合準備委員会を11月17日に第5回目を行いました。通学体制について協議し、遠距離通学対策として路線バスとぐるりんバスを使用して通学することが了承されております。</p> <p>通学時間帯における路線バスの1台増便、追加のバス車両の回送ルートなることから田原中学校付近のバス停の新設、ぐるりんバスの通学対応などで対応することです承されているものでございます。</p>
横田委員長	<p>再編につきましては、以上です。</p> <p>学校再編について説明がありました。</p> <p>ご質問等がございましたら、お願いします。</p>
横田委員長	<p>(「なし」と言う者あり)</p> <p>ご質問等もないようですので、次に、田原市議会第4回定例会一般</p>

教育部長

質問について報告をお願いします。

一般質問に関して、私からご報告させていただきます。

12月3日、4日と一般質問が行われ、教育委員会関係では、鈴木義彦議員の二つ目、学校再編に伴う校区制取り扱い方針を適用した伊良湖岬小学校新設に伴う校区の統合について、辻議員からは、持続可能な開発のための教育について、平松昭徳議員からは、困難を有する子ども・若者の支援について、この3人の方から質問がありました。

順次説明します。鈴木義彦議員の質問であります。

これは、具体的には政策推進部長が答えてもいいのですが、コミュニティ協議会統合について、現状と今後の展望について伺うということで、8月に市が校区コミュニティ協議会に示した方針というのが三つありまして、一つ目が1校区に対して1コミュニティ1市民館であると。伊良湖3校区については、平成28年4月までに統合するという事です。

二つ目が今ある市民館については、統合した段階で自治会に無償譲渡しますというのが方針です。

それから、統合後3年間、統合にかかる助成金を交付するという三つの方針を示してあります。

ただ、伊良湖校区については、この方針を了承してはおりません。市としては今後、丁寧に説明をしながら、理解を得ていくというようなことを言っていますが、今後どのように動くかはまだこれからの段階であります。これが一般質問の答えでございます。

次に、辻史子議員です。辻史子議員につきましては、ESD、ユネスコスクール、具体的な内容はこの質問の中に書いてありますが、ユネスコスクールについて田原市として取り入れてはどうかという質問です。

田原市については、教育振興基本計画の教育理念にあたるふるさと教育、これが要するにESD、ユネスコスクールの視点にあった方針であり、授業に取り入れてやっています。例えば菜の花プロジェクトのエコ活動、それから地域のお年寄りとかかわり福祉を学ぶ活動、防災キャンプなど、実際にやっている活動についてお答えしました。

また、もしユネスコスクールに参加したいという学校があれば、協力をしていくということでございました。

次に、3人目が平松昭徳議員です。子ども・若者の現状からどんなふうに考えているかということで、1点目が不登校、ひきこもりの現状について、平成25年度の不登校については、小学校は10人、中学校58人。ひきこもりについては、中学校1人。義務教育後のひきこもりに関しては、約380人が推定されると答えました。

2点目の不登校、ひきこもりに対する取り組み状況については、子ども・若者地域支援協議会をつくり体制づくりをしていると回答いた

しました。また、近隣市町の連携については、豊橋、豊川、蒲郡と共同で情報交換をしております。

それから、各施策の今後の展開については、各機関と連携を密にして支援体制の充実を図っていくという答え方をしております。

以上が一般質問の内容とその答えであります。

ただいまの一般質問について説明がありました。

ご質問等がありましたら、お願いします。

(「なし」と言う者あり)

ご質問がないようですので、次の小中学校への寄附についての報告をお願いします。

それでは、教育総務課から報告いたします。

平成26年度の教育関係小中学校寄附一覧の6番、7番でございます。

平成26年11月4日に彦坂景介さん、神戸小出身の方でございますが、この方は東京在住でございます。東部中学校へ現金2万円寄附をいただきました。3月補正で補正予算対応とさせていただきたいと思っております。

7番、11月19日に浅田勝延さん、神戸小出身の方から神戸小学校へ芸術鑑賞機会提供のためということで絵画2点、「黎明の群れ」、「鯉」ということで120万円相当の絵画を寄附いただきました。

以上です。

小中学校への寄附について説明がありました。

ご質問等がありましたら、お願いします。

(「なし」と言う者あり)

次に、平成27年田原市成人式についてお願いします。

平成27年田原市成人式は、年明けの1月11日10時から、田原市総合体育館で開催いたします。

教育委員さんにも後日案内状を出す予定です。

成人式について説明がありました。質問がありましたらお願いします。

いいですか。

(「なし」と言う者あり)

それでは、次に、第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会についてお願いします。

スポーツ課から報告いたします。

先週の土曜日、天気が雪、みぞれ、雨という大変な日になったわけですが、選ばれた選手たちはしっかり頑張っていて、成績は5位ということで、健闘してくれました。選手はしっかり頑張っていて、特に3区と6区の小学校6年生の女子、男子は両方とも区間賞で3位を取っています。

テレビで応援してくれた方もおられるかもしれませんが、以上報告とさせていただきます。よろしくお願いします。

横田委員長

ありがとうございました。
ほかに御質問がありますでしょうか。

(「なし」と言う者あり)

横田委員長

質問もないようですので報告事項を終わります。
その他、ほかに何かございますか。

(「なし」と言う者あり)

横田委員長

ほかにないようですので、本日の議事等はすべて終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。
これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会させていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後5時40分